

美しい花を咲かせますように

北秋田市花いっぱい運動推進協議会



花の種を播き、今年度の活動の準備を始めたさかえフラワーセンターのみなさん

申込期間 6月3日(火)~6月13日(金)

【苗の販売日時】

事前に申し込まれた方

6月21日(土)、22日(日) 5:30~9:00

当日購入する方

6月22日(日) 15:00~17:00

日時を厳守してください

当日は入れ物(ダンボール、発泡スチロール等)を忘れずにお持ちください。また、サルビア(赤)については苗の成長具合により、引渡しが1週間ほど遅れる場合がありますのでご了承ください。なお、本数に限りがありますので、申し込み期間でも数量に達した時点で締め切りますのでご了承ください。

申し込み・お問い合わせ

北秋田市花いっぱい運動推進協議会(中央公民館)

☎62-1130



前田公民館、森吉公民館でも開催が予定されているガーデニング講座

や詳細については森吉公民館(☎72 3259)までお問い合わせください。

学びの広場

公民館活動 生涯学習
文化振興 学校 スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

北秋田市花いっぱい運動推進協議会の平成20年度事業の一環として、今年度も花の苗の販売を行います。

昨年度は太田フラワーセンター(栄地区)で販売して

いましたが事情により廃止したため、今年度からは栄婦人会(会長、成田盛子氏)の会員のみなさんが運営する「さかえフラワーセンター(同じく栄地区)を立ち上げました。

早速4月26日には種を播き、その後の水掛けなど毎日生育の管理に力を注いでいます。

6月下旬には美しい花が販売できるよう会員一丸となって頑張っておりますのでみなさんよろしく願いいたします。

花の苗の販売を行います

「市内を花でいっぱいに」今年も花の苗の販売を行います。本数に限りがあり、また販売当日は大変込み合いますので、あらかじめ事務局(中央公民館)へ花の種類、本数をお申し込みください(電話可)。代金は現地で徴収します。

【苗の販売場所、種類、価格(一本につき)】

販売場所 さかえフラワーセンター(栄字前綱地内=マックスバリュの道路をはさんだ北側)

種類と価格(3種類) マリーゴールド(黄、オレンジ)=20円、サルビア(赤)=30円

綺麗なお花は良い土づくりから

阿仁公民館ガーデニング講座

ガーデニングが楽しい季節になりました。お花を綺麗なまま長持ちさせるにはどうしたらいいのでしょうか。そんな、お花や園芸が好きな方を対象に5月16日に阿仁公民館で、加藤由美子さんを講師に迎え「良い土づくりと寄せ植え」講座を開催しました。

培養土の材料の特性を生かした組み合わせで、寄せ植えに合う土を作り、プランター栽培での手入れ方法を学びました。この講座は、前田公民館(6/10)と森吉公民館(6/19)でも開催します。参加を希望される方

20年度高齢者大学がスタート

鷹巣地区の高鷹大学は326人で

高鷹大学(金森嘉次郎学長)の入学・開講式が5月13日、市文化会館で行われ、16人の新たな仲間を加え、326人で今年度の学習活動がスタートしました。

開講式では、「君が代」、校歌(鷹巣町民歌)斉唱に続き、新入生点呼が行われ、大きな声で返事をすると新入生たちを、先輩たちが温かい拍手で歓迎しました。また、式辞では総長の三澤教

を高く掲げ、学習や交流にはげんでください」と激励しました。

このあと、新入生を代表して河田喜与志さん(鷹巣舟見東)が記念品を受け取り、成田盛子さん(栄前綱)が代表あいさつ。成田さんは、「入学式が盛大に開催され、入学した私たちは身の引き締まる思いです。今日からは高鷹大学の学生として、生涯を楽しく学ぶという気持ちを持って、先輩たちのご指導をいただきながら、仲間と仲良く勉強していきたい」と抱負を述べました。

開講式終了後には、今年度の第1回講座として、秋田県地域婦人団体連絡協議会会長の中嶋喜代さんによる、「終戦前後の私の歩んだ道」と題した記念講演が行われました。

講演では、中嶋さんが壮絶な戦争体験を涙ながらに語り、戦争の悲惨さや平和のすばらしさを改めて思い知らされました。

5月9日には合川ことぶき大学で始業式、25日に森吉大学、30日に前田寿大学、21日に阿仁活き生き大学でそれぞれ入学・開講式が行われました。こちらの様子は次号で紹介いたします。



新入生代表としてあいさつをする成田盛子さん

ふるさとの文化財

根子番楽

北秋田市阿仁根子
根子番楽保存会
(会長・佐藤二朗)

根子番楽の由来は、源氏や平氏の落武者が根子地区に住みつき伝えられた芸能であるとされています。特徴として、勇壮な武士舞と静かな古典的舞が混合した番楽です。

特に、歌詞が文学的に優れた内容であること、舞の形式が「能楽」のさきがけである幸若舞と呼ばれる以前のもので、歴史的にとっても価値が高いとされています。山里に今も残る民俗芸能の中に、古代人の情熱を漂わせるとともに、勇壮なマタギと武士の血と面影を伝えていきます。

毎年お盆の8月14日と、神社祭典の9月2日曜日に演じられていますが、地区の小・中・高校生が「番楽子ども会」を組



根子番楽

織し、保存伝承に努めています。現在伝えられている演目は、「露払い」「翁舞」「鞍馬」等9演目です。

昭和39年11月17日、秋田県無形民俗文化財指定。昭和47年8月5日、国の記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財に選択される。平成16年2月6日、国無形文化財指定。

現在北秋田市内では、根子番楽(国指定)と幸屋渡番楽(市指定)以外に、太田番楽、黒沢番楽(旧鷹巣町)があります。

幸屋渡番楽は慶長元和の頃(安土桃山時代)江戸初期(山陰地方の山谷番楽)が伝えられたと言われ、佐竹侯もご覧になったといわれています。

太田番楽は静の番楽と言われ、江戸時代の終わり頃、法楽院峯紹が京都に修行中に神楽を学び故郷に帰り、神楽を基本に歌舞伎を取り入れて郷土の番楽として楽しんだといえます。特色として出演者全員が台詞を言うこと、左に花道があることです。

黒沢番楽は、江戸時代中頃黒沢大川家が津軽浪岡から移住したときにもつてきたものと言われ、作祝いに演じられもので調子が早い動作が特色です。

資料「阿仁の文化財その1」北鹿は宝箱「鷹巣の文化財」協力者/根子番楽保存会長 佐藤二朗氏 紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷一